

(3) 大型車の状況

平成 11 年 10 月 7 日 (木) における東京西部地域の一般道路の大型車交通量 (断面) は、左図のように観測された。

- 環状 8 号線と 7 号線には、甲州街道 (国道 20 号) や国道 246 号より多くの大型車交通量が流れている。
 - 環状 8 号線では、新青梅街道以北で 1.8 万台/日 ~ 1.9 万台/日、新青梅街道 ~ 青梅街道間が 1.5 万台/日、青梅街道以南 (瀬田交差点まで) で 1.6 万台/日 ~ 1.7 万台/日の大型車交通量がある。
 - 環状 7 号線では、青梅街道以北で 1.3 万台/日、以南 (上馬交差点まで) で 1.5 万台/日 ~ 1.7 万台/日の大型車交通量がある。
 - 青梅街道は、環状 8 号線以東で 0.5 万台/日、以西で 0.6 万台/日 ~ 0.8 万台/日の大型車交通量がある。
 - 甲州街道 (国道 20 号) は、環状 7 号線 ~ 環状 8 号線間で 0.9 万台/日 ~ 1.2 万台/日、環状 8 号線以西で 0.6 万台/日 ~ 0.9 万台/日の大型車交通量がある。
 - 国道 246 号 (環状 7 号線以西) には 1.0 万台/日 ~ 1.4 万台/日の大型車交通量が流れている。

- 環状 8 号線に大型車が集中している。
 - 「全交通量に占める大型車の比率」は、環状 8 号線では 20 ~ 30% (4 台に 1 台) で、環状 7 号線の 20% 強、国道 246 号の 20% 弱、甲州街道の 15% 前後、青梅街道の 10 ~ 15% と比べ多くなっている。